

令和元年度 能見台地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

能見台地域ケアプラザの担当圏域は、富岡西・能見台、能見台、金沢東部、金沢中部という性格の異なる4地区にまたがっており、それぞれ特徴的な地域活動が行われているエリアである。各地区の特性に応じて活動者、団体を支援し、情報交換を行い相互につなぐ役割をケアプラザが担っている。今後も身近な地域で住民の活動立ち上げ、継続を支援し、その情報を広く地域に提供していく。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

地域住民主体の活動が維持、継続できるよう運営の支援を行っていくとともに、元気づくりステーションが未整備の地域に対しては、立ち上げの支援を行う。

認知症における課題のひとつである「高齢者の運転トラブル」や「免許返納」について、地域ケア会議のテーマとし、関係者間で情報収集・共有、課題抽出を行う。

病院や施設に入院・入所する際求められる「身元保証」について、専門家による支援者向け勉強会を開催し、関係者が現状を把握する機会を設ける。

地域の集いの場や話し合いの場に適宜参加し地域の社会資源情報を収集するとともに、地域活動の動画による紹介を行い、地域支援・個別支援につなげていく。

様々な連絡会や、地域の方の声に常に耳を傾け、包括支援・居宅支援・生活支援コーディネーターとの連携をとり課題ニーズを把握し、地域のすべての方が孤立することなく参加できる事業を企画実施する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

元気づくりステーションについてはスリーAなど継続的な活動をしている団体に引き続き働きかけていく。地域ケア会議のテーマとして取り上げた「高齢者の運転トラブル」や「身元保証」については、重要な課題と考え継続して取り組んでいく。生活支援支援事業については支えあい連絡会をはじめ地域に展開するサロン活動、体操教室などの健康づくりの活動、介護予防に資する活動等の情報収集、情報交換を進めることができた。引き続き包括と生活支援・地域交流の両コーディネーターとの連携を図りつつ、ケアプラザ全体として地域支援・個別支援を進めていく。

区からのコメント

窓口での相談や地域住民の話し合いや活動の場に積極的に出向くことで、地域課題の把握や課題解決に向けた取組みを積極的に行っています。

特に、支えあい連絡会では、地域の活動者と活動団体の情報交換や活動内容の共有の場になっている他、地域の活動団体の活動場所を地図上に落とし込むことで、視覚的に取組を整理できるようにしています。

今後も地域課題を整理し、課題や不足している取組について、地域住民と共同で検討し、地域の取組が進んでいくよう支援をお願いします。